

地域

団体名

置賜 早坂山あるき隊

事業項目

森や自然とのふれあい活動

活動地

米沢市万世町早坂山

団体紹介

米沢市東部の万世町を通る東北中央高速の八幡原ICの南に2等三角点がある早坂山が対象。
里山の自然の素晴らしさを体感させ、健康増進も図ろうと令和1年に結成。
当初は散策路がなく、道の開拓整備から活動した。多数の地権者を探して理解を得ることから始め
2019(令1)年には山頂西側、2020(令2)年には東側を整備。地点名標識や分岐点の方向指示設置。

本年令和3年に森づくり活動の補助を直接受ける事業を開始。 早坂山あるき隊のメンバーは13人。
年2回のハイキングは万世コミュニティセンターと共催。
地権者が他にいる山を活用させてもらう特殊な活動。

活動内容

4/11(日)午前 カタクリ観察会 参加9人+スタッフ4人

カタクリが米沢一番？に早く咲くのを観察。
青空に雪山が光る景色や、タムシバ、シュンラン、キバナノアマナ、キクザキイチゲ等の春の花を見れた。



山道整備 (倒木処理と傾斜路面の削平//草刈り) 4/10(9人)、4/24(6)、5/13(1) // 草刈り 6/6(6)、7/18(6)、10/24(9)、11/3(2)



杉の幹折れ複数

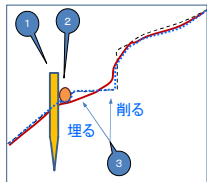


この冬は倒木多発。昨年末の湿りどか雪で杉や桜、松も折れた。
処理した倒木は約21本

山道の真上の樫の幹折れのかかり木。チェーンソー作業時に根元で切り倒して、かかり木を落とした。
倒した木はベンチに活用済。



斜面上の樫の太木からのドミノ倒木



路肩が斜めの道を水平に均し、倒木を路肩の土止めに活用。約50m



5/1(6人)、5/2(7人) 丸太ベンチを現地で制作 4カ所に7基設置(倒木利用)

丸太ベンチ製作中

5/16ハイキング、自然観察会 参加18人+スタッフ6人+講師1人

講師による植物の解説。キブシの小枝の芯のスポンジを押し出す遊びも。

新緑が美しい里山の豊かな自然を観察。 熊棚も観察。 ニオイシミ、ムラサキケマン、ハタザオ、アケビ、ホウチャクソウ、ドホナ、レンゲツツジ、アオダモ、フジ、ガクウラボヨウラク、イワナシ(実)、ヒメアオキ、ハイイヌガヤ、エゾユズリハ、ツルシキミ、ツクバネウツギなどの花



急坂前で講師の解説



北尾根のケヤキ大王



早坂山頂上広場



6/13 里山探検1(自然観察) 参加者2人+スタッフ1人

エゴノキやヤマグワ、イワナシなど紹介。丸太ベンチでの休憩が好評。 標識の杭が熊にやられたり、新しい杉の皮剥ぎが見え、熊との関わりを考える好機会となった。

8/9 里山探検2(自然観察) 参加者4人+スタッフ3人+講師2人



森のたんけん手帳を活用
葉っぱの形や香りの違いを知り新鮮な驚き。
急坂でロープを使って前に進めない子がコツを教わり歩けるようになった。山頂から街の眺めが近いのにも感動したとの感想。

9/12 標識のクマ被害を確認

昨年の防腐処理標識木杭9本が熊爪で完全に破損。X印
倒木3本増加。尾根の倒木は11/3処理済

10/24 秋の草刈り実施 スタッフ9人 倒木1本増加。 11/3倒木処理済

11/3 木の実クラフト作り 参加10人～ 9/26事前に木の実を採集。

11/7 自然観察ハイキング 参加25人～

今後の予定 11/14 キノコ植菌、 11/ (?) 名札付け、標識整備、 2/27 木炭体験

活動を行っている感想

●山道整備の処理内容を地権者に伝えきれていない。 活動を認識してもらう機会を作りたい。

●クマ被害の出ない標識用木について知りたい。 防腐剤を塗った木材を使ったが、完全に破壊されてしまった。 次は金属製に更新？

●大勢参加時に細道で列が伸びて講師の説明が届かない。 拡声器で声は伝えても説明物が見えない。 内容記録も課題。

●参加募集を素人で行うと負担が大きいのに効果が低い。 活動歴も浅く広報が不足。 代理で広報連携する支援欲しい。→森づくり活動の広報マン

●森づくり活動をボランティアで実働する方へ謝礼を出せない予算制約は活動が活発にしづらい。 森づくりを無償ボランティアに頼る考え方は持続性が弱く、見直した方が良い。

→ボランティアへのモチベーションアップの仕掛け



ウダイカンバが黄色く染まる早坂山北面



早坂山の山頂には、伊達時代の山城跡 早坂山館の重層な曲輪があり、南西山麓には横堀、切岸等大規模な遺構の鷲城跡があります。
その城跡に胸周り3m超のブナ大木があり、町内+60mの低地の貴重な植生なので、自然と歴史の学びの場として活かしたい。